

8月25日正午必着

明石春浦先生書

涼聲度竹風如雨、碎影搖窓月在松（文徵明）

小鳥らのいかに睦みてありぬべき夏青山に我はちかづく（齋藤茂吉）

明石幸子書

涼聲度竹風如雨、碎影搖窓月在松（文徵明）

涼聲度竹風如雨、碎影搖窓月在松（文徵明）

竹林を吹き渡る風声は雨の如く、窓にうつる
松影は碎けうごいて月が松にかかる

8月25日正午必着

洞庭西望楚江分
水盡南天不見雲
日落長沙秋色遠
不知何處弔湘君

洞庭は中国第一の大きな湖で、その北岸から西の方を望むと、その地方で楚江と呼ばれます。

草閣臨無地一江空秋月寒
亦知奇絕景未必要入看一朱熹

草閣が雑草の荒れ茂れるところに建てられており、秋の月は寒江を照らして物さびしい景観である。

吳明徹故壘
古臺搖落後秋日望鄉心
古寺人來少雲峯隔水深
夕陽依舊壘寒磬滿空林
惆悵南朝事長江獨至今

吳明徹が故壘
古台 摆落の後 秋日 望郷の心
古寺 人來少 雲峯 隔水深
夕陽 依舊壘 寒磬 滿空林
惆悵す 南朝の事 長江のみ 獨り今に至る

洞庭は揚子江の本流ばかりでなく、支流まで手にとるように見え、視線を南の方へ移すと、万里雲なく水また水である。そして秋の太陽は、遠く長沙とおぼしきかなたに沈みかけ、湖の南にそぞく湖水のある女神は、そもそもいずこにおわしますやら。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

立愛惟親（書經）

愛を立つるは惟親よりす

草閣臨無地一江空秋月寒
亦知奇絕景未必要入看一朱熹

草閣無地に臨み、江空しく秋月寒し。
亦知る奇絶の景、未だ必ずしも人の看るを要す。

吳明徹故壘

劉長卿

吳明徹が故壘
古台 摆落の後 秋日 望郷の心
古寺 人來少 雲峯 隔水深
夕陽 依舊壘 寒磬 滿空林
惆悵す 南朝の事 長江のみ 獨り今に至る

徳惠を行ふには親近なるものより先にすべきをいう。

草閣が雑草の荒れ茂れるところに建てられており、秋の月は寒江を照らして物さびしい景観である。

（前田 夕暮）

西 墨濤先生書



半紙部規定課題A

8月25日正午必着



※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

8月25日正午必着

草書

山中に夜は明け初め、旅人は去つて行く 空は高く、ものがなしい秋のけはい
地上の川に映じていた天の川はすでに消え去つて かぐわしい草はつめたい露の中に衰えてゆく
いまここに別れて、またも千里のかなたに赴くのだが 若さというものはいつまでも保てるものではない
君の住む剣渓への道がはつきり心に浮ぶ いさか将来の約束をお届けしましょう

行草書

行書

隸書

明石春浦先生書

早行寄二朱放一

戴叔倫

山曉旅人去

天高秋氣悲

明河川上沒

芳草露中衰

此別又千里

少年能幾時

心知剣溪路

聊且寄前期一

早行
朱放に寄す
戴叔倫

山曉けて旅人去り

天高くて秋氣悲し

明河川上に没し

芳草露中に衰う

此の別れ又た千里

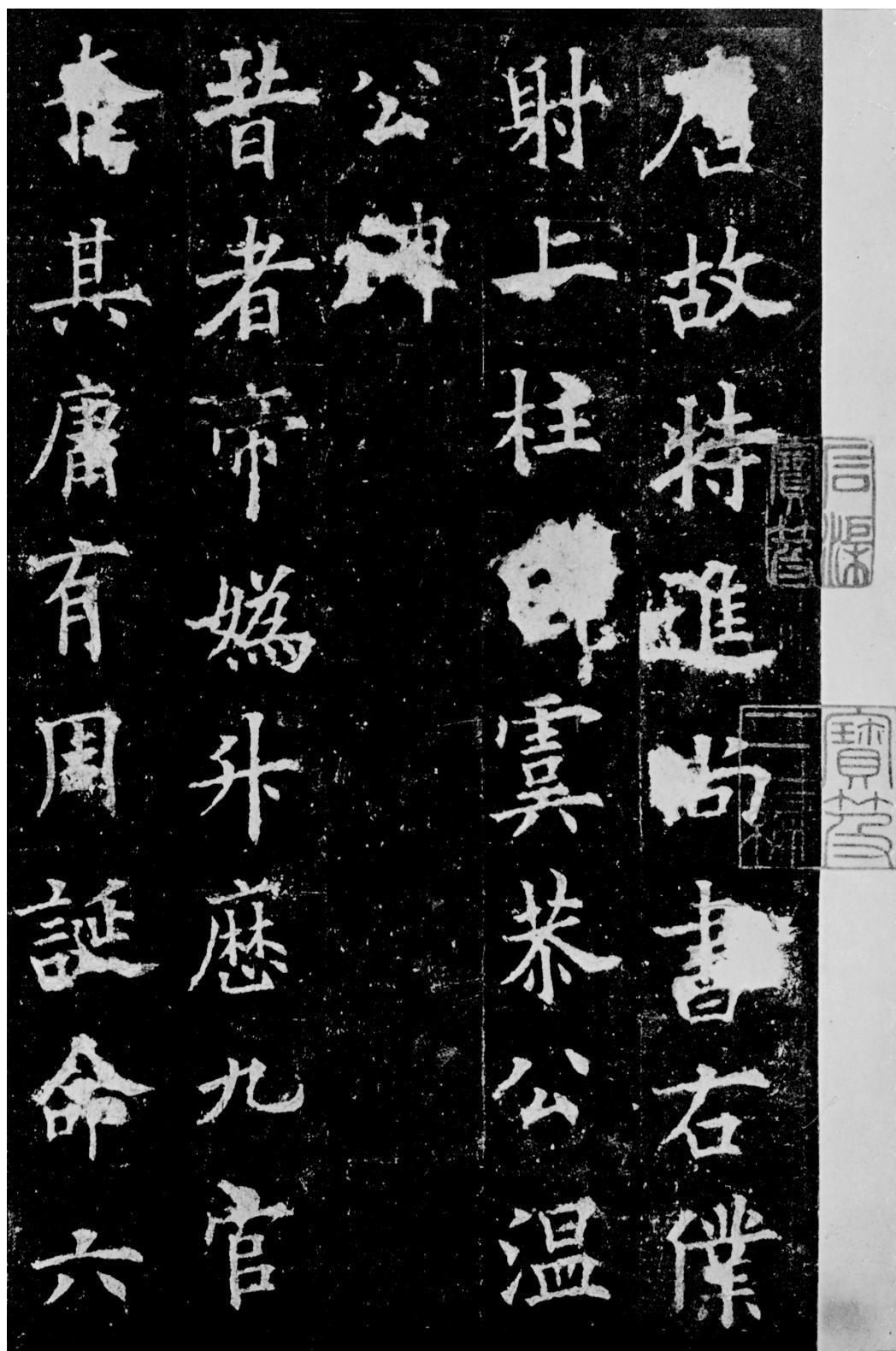
少年能く幾時ぞ

心に知る剣溪の路

聊且前期を寄す

(出典)
朝日新聞社刊
「三体詩」下より

条幅部半紙部臨書課題



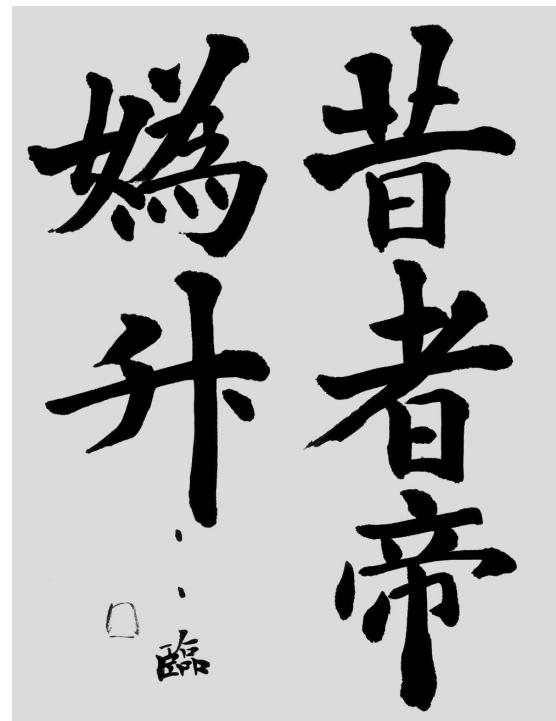
唐故特進尚書右僕射上柱國虞恭溫公碑

昔者帝媯升歷。

九官奮其庸。

有周誕命。

六



歐陽詢は陳の永定元年（五五七）、潭州臨湘の生まれで、字は信本。中国では南北朝時代を終え、南北統一国家としての隋が誕生する。そして、隋代の三十数年を経て、中国史上もっとも偉大な王朝といわれる唐王朝が建国された。唐代（六一八～九〇七）は、建国から滅亡に至るまでおよそ二九〇年間続いたが、とりわけ隆盛を極めたのは二代皇帝太宗（李世民）の時代であった。彼は聰明で、すぐれた政治的手腕をもち、大きな功績を残した。（貞觀の治）

文化史的観点からみると、隋から初唐にかけての時代は古今に比類のないほど書の名人大家が輩出した時代で、南北朝の統一によって文化も統一融合を見るに至ったのである。そしてその統一の完成期が太宗の時代であると言われている。

太宗は生来書を好み、殊に王羲之の書を寵愛した。したがって、彼は文化政策の一環として、書道の確立に大いに力を注いだ。その太宗に貢世南とともに重用されたのが歐陽詢である。彼はいかなる書でも巧みにこなした人であったが、その書は楷書に代表され、南朝の伝統的な書を基盤とした典雅な中に力強い動きをこめた書風は、唐王朝の隆昌を表現するものと言えよう。

彼は正書四碑（皇甫誕碑・化度寺碑・九成宮醴泉銘・溫彥博碑）を残しているが、いずれも晩年の作であり、この溫彥博碑は八十一歳の四碑最後の書で、歐書の集大成とも言われている。

(春濤)

唐
歐陽詢 · 溫彥博碑

歐陽詢は陳の永定元年（五五七）、潭州臨湘の生まれで、字は信本。中国では南北朝時代を終え、南北統一国家としての隋が誕生する。そして、隋代の三十数年を経て、中国史上もっとも偉大な王朝といわれる唐王朝が建国された。唐代（六一八～九〇七）は、建国から滅亡に至るまでおよそ二九〇年間続いたが、とりわけ隆盛を極めたのは二代皇帝太宗（李世民）の時代であった。彼は聰明で、すぐれた政治的手腕をもち、大きな功績を残した。（貞觀の治）

文化史的観点からみると、隋から初唐にかけての時代は古今に比類のないほど書の名人大家が輩出した時代で、南北朝の統一によって文化も統一融合を見るに至ったのである。そしてその統一の完成期が太宗の時代であると言われている。

太宗は生来書を好み、殊に王羲之の書を寵愛した。したがって、彼は文化政策の一環として、書道の確立に大いに力を注いだ。その太宗に貢世南とともに重用されたのが歐陽詢である。彼はいかなる書でも巧みにこなした人であったが、その書は楷書に代表され、南朝の伝統的な書を基盤とした典雅な中に力強い動きをこめた書風は、唐王朝の隆昌を表現するものと言えよう。

彼は正書四碑（皇甫誕碑・化度寺碑・九成宮醴泉銘・溫彥博碑）を残しているが、いずれも晩年の作であり、この溫彥博碑は八十一歳の四碑最後の書で、歐書の集大成とも言われている。

(春濤)

8月25日正午必着

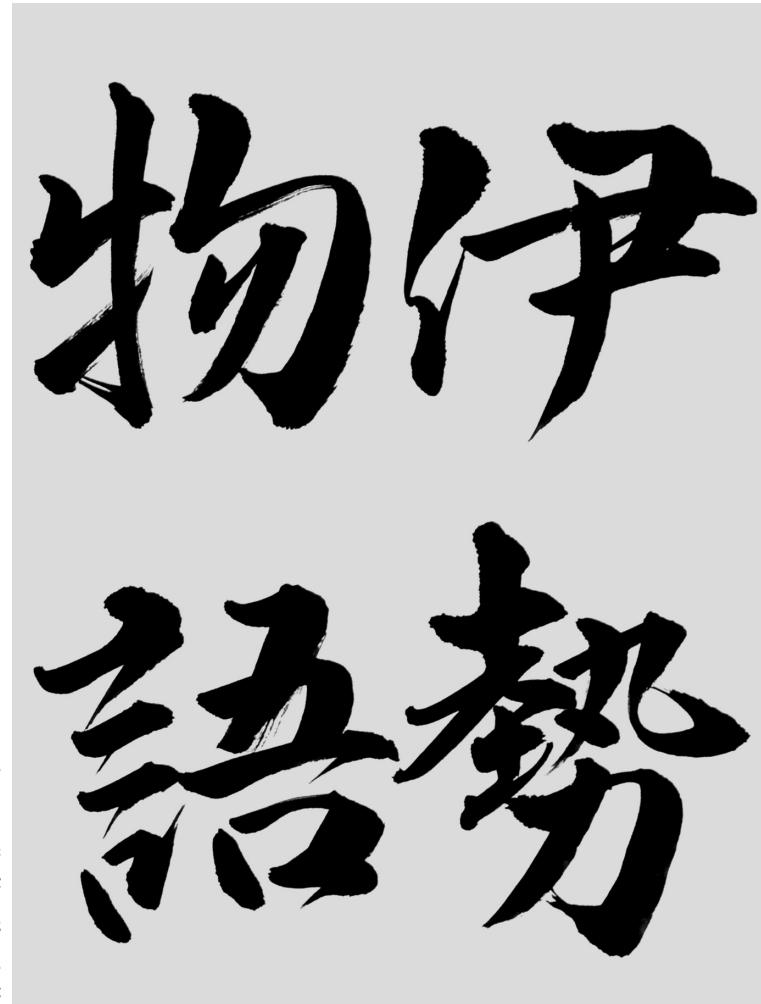
教 育 部 毛 筆



江戸時代

中学一年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



伊勢物語

中学二三年



月見うそ

小学五年

檀戸春龍先生書

台風の日

小学六年

藤井良泰先生書

8月25日正午必着



ひ
日 や け

小学三年



いし
石 だ た み

小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



な
つ

小学一年・幼年

明石幸子書



す
い
か

小学二年

森川春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部 硬筆

8月25日正午必着

わたしの原波と空とはひとつにて 入日をうくる山の端もなし (藤原定家)
わたくしの原波はひとうて
入日をうくる山の端もなし

小学五年

あしたは五時半起
しそうの予定です

小学六年

いろいろな書物から
新しい知識を得る

中 学

最も幸福な人はいつも
行動しているのである

一般(級位)

ペン字部

にな
うの
ど
うぐ
も

うつ
の
うぐ
らに

大
きな
こ
を
のむ

ぎ
ちや
ツ
の
て

イ
チ
だ
フサ
た
ン
ド

昼
食
は
チ
だ
ン
ド

魚
すく
い
をす
る

夏
まつ
り
き
す
る

まつ
りの
日
に
ラーメン
を
食
べ
た

マ
フ
リ
の
日
に
屋
台
で
ラ
ー
メ
ン
を
食
べ
た

幼年

小学一年

小学二年

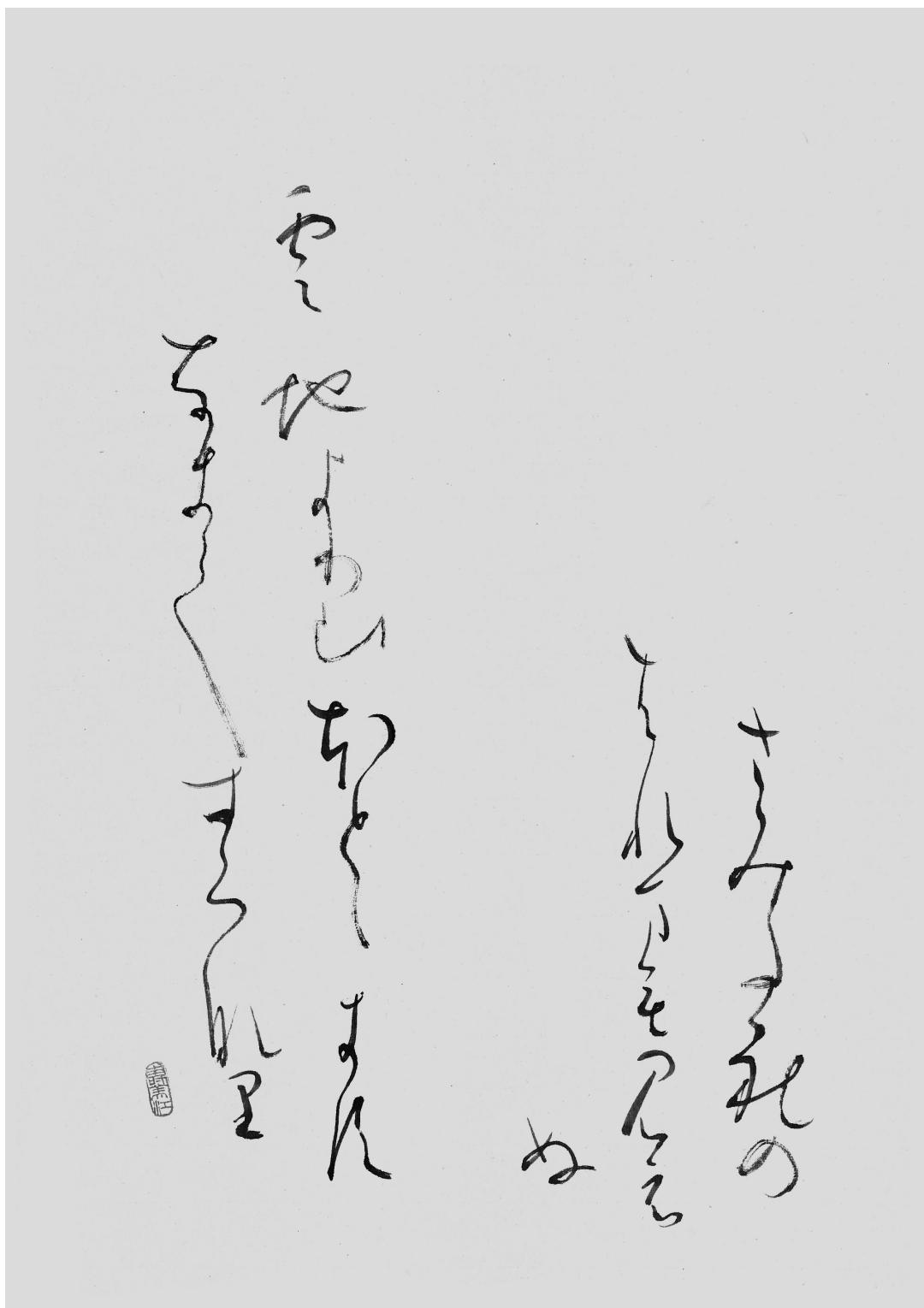
小学三年

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

半紙部かな参考

8月25日正午必着



岩本景楓先生書